



## 【市立吹田市民病院の概要】

病院名： 地方独立行政法人 市立吹田市民病院  
SUITA MUNICIPAL HOSPITAL  
所在地： 〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号  
電話： TEL：06-6387-3311（代）  
病床数： 431床（一般：374床、回復期リハ病床：45床、救急病床：8床、ICU：4床）

### <病院の基本理念>

#### 市民とともに心ある医療を

…全職員が患者さんの立場に立ち、一致協力しておもいやりの心を持って医療の提供をめざすことを明らかにしたものです。

患者さんのおかれている現状を十分認識して、良質で安全な医療を心を込めて提供します。

### <病院の特徴>

市立吹田市民病院は昭和28年7月、吹田市出口町に30床の病院として開院し、現在までに診療科29科・病床数431床を備えた、急性期医療を担う地域の中核病院として発展してまいりました。平成30年12月にはJR岸辺駅前の北大阪健康医療都市（健都）に新築移転し、健都の一翼を担う国立循環器病研究センターと相互に密な連携体制を構築し、新しい医療クラスターに相応しい医療を提供させていただいています。

### <病院の運営方針>

1. 全職員がたゆまぬ研鑽につとめ、相互協力して良質で安全な医療の提供に努めます。
2. 早期診断、早期治療に全力を注ぎ、地域医療システムと連携して継続医療を行います。
3. 救急医療、災害医療の充実に努めます。
4. 市民の健康増進に寄与し、疾病の予防に努めます。
5. インフォームドコンセントを尊重するとともに、個人情報を守ります。
6. 効率的な運営に努め、経営改善に取り組みます。

### <職員の倫理指針>

1. 医療水準の向上のため自己研鑽に努めます。
2. 全ての人の人格を尊重し、温かく、公正・公平・誠実な対応に努めます。
3. 「患者の権利章典」を守り、医療情報の適正な管理と個人情報の保護に努めます。
4. 患者さんの医療を選択する権利を尊重し、良質で安全な医療の提供に最大限の努力を払います。
5. 地域の医療機関との緊密な連携に努めます。
6. 無駄を省き、合理的な運営に努めます。

### <薬剤部運営の特徴>

薬剤部は、薬剤部長の下、調剤部門責任者、病棟部門責任者、学術部門責任者を配置し、それぞれ連携しながら、医薬品の安全担保とともに学会発表、論文作成にも力を入れています。

常に患者さんに思いやりの気持ちで接し、患者さんから信頼される薬剤師を目指すこと、  
正確・安全な調剤を心掛けると共に、患者さんが安心して安全な薬物療法を受けられるよう医薬品の安全性・有効性のチェックを行い医療事故防止に努めること、  
薬剤師としての職能を活かし積極的にチーム医療に貢献すること、

そして適正な医薬品管理を行い病院経営に貢献することを基本方針とし、患者さんに安全で安心してお薬を使っていただくために、部員一丸となって業務に取り組んでいます。

また、市立吹田市民病院の医療を支えているのはチーム医療であるとの考えから、医師・看護師をはじめ他の医療スタッフともしっかりと連携をとり、薬剤部員もその一翼を担う医療人としての自覚を持って日々の業務を行っています。

## 1. 薬剤部メンバーについて

常勤薬剤師 24 名、臨時雇用（アルバイト）薬剤師 5 名（常勤換算 4 名）、SPD2 名

## 2. 業務内容（抜粋）

### ①調剤室

入院・外来ともに電子カルテシステム（fujitsu）薬剤部門システム（yuyama）を連動し、処方監査システム、自動薬袋作成、自動錠剤分包機、散薬自動調剤ロボット、などを稼働させることで、正確な調剤を行なうとともに効率化も図っています。

外来患者さんのお薬は原則、院外処方に対応しています（夜勤帯および休日時間帯の外来（救急外来）処方 は 全て院内処方）。

院外処方箋には患者さまの検査値を印字し、調剤薬局での処方監査に役立ててもらっています。

注射薬は自動払い出し装置を利用し、患者さん個人別に注射剤をセットして病棟に払い出しています。注射薬も業務の効率化のため、返品薬を自動的に分別する注射返品薬自動仕分け機を払い出し装置に連結させて運用しています。

TPN は全日調製しています。

SPD は、ピッキング業務、医薬品の発注や納品、棚卸などの業務を担当しています。

### ②病棟業務、チーム活動

全病棟に専従の薬剤師を常駐させ病棟薬剤業務を実施しています。薬剤師を常駐させることで病棟での薬剤確認や服薬指導などを通じて、入院患者さんに安全で安心な薬物治療を受ける体制を整えています。また、医師・看護師などの病棟スタッフからの相談応需や医師への処方提案等を通じて、病棟における医薬品適正使用についての体制も整えています。

ICT・緩和・NST・褥瘡・認知症・術後疼痛管理などにおける院内チーム活動の一員として参加し、組織横断的な活動の一端を担っています。

### ③抗がん剤調製など

院内で投薬される注射抗がん剤は全日全て薬剤部で調製を行っています。

化学療法センターで初回投与の患者さんについては、がんの認定資格者の薬剤師が薬剤の説明を行っています。

薬剤師外来も医師から依頼があれば（対応可能な予約枠はあるが）対応しています。

抗がん剤用のトレーシングレポートを用い、保険薬局と連携して、特に内服抗がん剤の服薬状況や副作用状況などの情報共有を行ない、必要に応じて処方医にフィードバックしています。

### ④DI（医薬品情報管理）業務など

DI 担当薬剤師として、専任 1 名を配置し、院内における医薬品情報周知の要として、「薬剤部ホームページ」、「薬剤部ニュース」、「副作用・プレアボイド NEWS」などを通じて医師、看護師等他の医療従事者に医薬品情報や副作用情報を発信しています。

また、薬品マスタの管理・運営を行い、電子カルテにおける安全・安心な処方入力が継続するように努めています。

さらに、DI 担当薬剤師は、学術部門も担当しており、職員の学会発表、論文作成のサポートや JASPO（日本臨床腫瘍薬学会）研修生の教育も行っています。

### ⑤患者支援センター業務など

「患者支援センター」に薬剤師 1 名を配置し、入院予定患者さんの服用薬やアレルギーの確認、手術で中止する薬剤の説明と休薬期間の確認を行ない、入院後に担当する病棟薬剤師・医師・看護師と情報共有をするよう電子カルテにその旨入力しています。

⑥臨床研究センター業務など

臨床研究センターに薬剤師 1 名を配置し、当院での治験や臨床研究などについて事務局業務を行っています。

⑦薬学部学生実習対応業務など

薬学部学生実務実習生の実習受け入れは、每期 3 名で年間 9 名を受け入れています。全ての病棟に各自 1 週間ずつ別々に実習させています。また、隣にある「国立循環器病研究センター（国循）」と相互実習も行っています。

⑧その他

豊能・三島地区薬業連携協議会調剤事前申し合わせ協定における変更調剤プロトコルに参加しています。

連携充実加算」の算定要件である講習会は、吹田市内のがん拠点病院（大阪大学医学部附属病院、大阪府済生会千里病院、大阪府済生会吹田病院と当院）の 4 病院共同で行っています。

門前の保険薬局と 3 ヶ月に 1 回のペースで、症例勉強会を行っています。

3. 業務実績（2024 年度データ）

（ ）は前年度比較	外来	入院
内服・外用処方せん枚数	(院外) 84,163 枚 (-733) (院内) 6,573 枚 (+1,050)	68,694 枚 (+5,424)
注射処方せん枚数	11,912 枚 (+857)	80,503 枚 (-1,476)
抗がん剤無菌調製件数	26,061 件 (+2,907)	11,527 件 (+752)
検査薬処方せん枚数	1,707 件 (+64)	
疑義照会件数	4,201 件 (-319)	
高カロリー輸液無菌調製件数	677 件 (-358)	
病棟薬剤業務実施加算件数	21,311 件 (+3,721)	
薬剤管理指導件数 (325)	13,099 件 (+855)	
ハイリスク薬 (380)	2,758 件 (+622)	
退院 (90)	6,246 件 (+592)	
麻薬 (50)	165 件 (+31)	
持参薬確認件数	7,724 件 (+789)	
患者支援センター 面談件数	541 件 (+53)	
持参薬入力件数	3,270 件 (+1,000)	
外来吸入指導	0 件 (±0)	
外来禁煙補助薬薬剤指導	12 件 (+10)	
外来自己注射手技指導	75 件 (+34)	
おくすり外来（薬剤師外来） （抗がん剤初回投与時説明含む）	305 件 (-22)	内 がん患者指導料ハ 79 件

4. 薬剤師資格保有者（2026 年 4 月 1 日時点）

日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師 1 名  
日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 2 名

日本医療薬学会 がん専門薬剤師 1名  
 日本病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師 1名  
 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師 3名  
 日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師 1名  
 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師 13名  
 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師 6名  
 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師 1名  
 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師 4名  
 日本腎臓病協会 腎臓病療養指導士 1名  
 日本循環器学会 心不全療養指導士 2名  
 日本臨床栄養代謝学会 NST 専門療養士 3名  
 日本麻酔学会 周術期管理チーム薬剤師 2名  
 日本薬局学会 認知症研修認定薬剤師制度 1名  
 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 6名

**<見 学 時 間> 7月24日(金) 14時~16時(予定)**

**<受入れ予定人数> 5名程度**

**<見学者の集合場所> 当院2階 総合受付前**

**<交 通 機 関> JR 京都線 岸辺駅より徒歩約5分**  
**※駅直結の連絡デッキを経て、ピエラ岸辺健都(2階)の中を通り抜けると便利です。(JR 新大阪駅からたった3駅です)**  
**阪急京都線 正雀駅より徒歩約15分**

**<案 内 図>**

